

5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第8時(9時間取り扱い)

ひし形の面積を求める公式を理解することができる!

本時の授業の概要

既習の求積方法をもとにひし形の面積を求める発展学習である。ひし形の面積を求める考え方を公式にまとめ、面積を求められるようになるとともに、面積の学習をより深める。

本時の目標

ひし形の面積の求め方を考え、公式を作ることができる。

活用場面

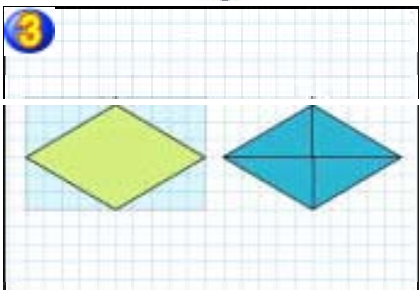
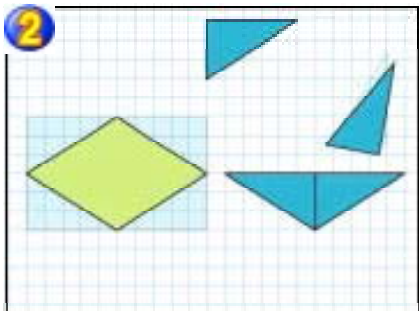
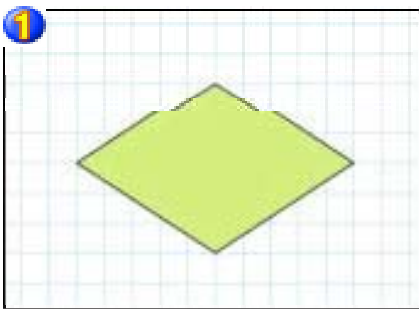
課題発見

見通し

一般化

まとめ

習熟



どうすればひし形の面積を求めることができたか確認する。

① T : このひし形は、このままでは面積を求めることができませんでした。どのようにしてひし形の面積を求めましたか

C : ひし形のまわりを囲む長方形をつくります。
T : 長方形の面積なら求めることができますね。
C : まわりの三角形を集めると、もとのひし形と同じ形になります。だから求めるひし形の面積はこの長方形の面積の半分になります。

ひし形を長方形に変形することにより、ひし形の面積を求めることができることを確認する。

②③ T : どの長さがわかるとひし形の面積が求められますか。

C : 長方形のたてと横です。
C : たてと横をかけて2で割ればいい。
T : ひし形の面積は、たて×よこ÷2になります。
T : 長方形のたてとよこはひし形の対角線と同じです。
T : ひし形の面積の公式は、対角線×対角線÷2です。

【ワンポイントアドバイス】

デジタルコンテンツを途中で止めながら、児童の発言をもとに、本時の学習を振り返りたい。

公式を覚えるだけでなく、どうして公式が使えるかを理解していることの大切さを伝えたい。

【サイト情報】

http://www.dainippon-tosho.co.jp/mext/nhk/es_02/S22.mpg
「算数・数学の思考過程をイメージする動画素材集」